

## 令和4年度第4回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング 議事要旨

日 時：令和5年2月22日(水)16:00~17:00

場 所：ZOOMによるWeb会議

出席者13名：足立源樹（那覇市立病院）、中村清哉（琉大病院）、三浦耕子（県立中部病院）、朝川恵利（県立宮古病院）、野里栄治（北部地区医師会病院）、久志一朗（沖縄病院）、新里誠一郎（浦添総合病院）、笹良剛史（豊見城中央病院）、西原実（ハートライフ病院）、林正樹（中頭病院）、友利健彦（沖縄赤十字病院）、神山佳之（南部医療センター・こども医療センター）、増田昌人（琉大病院）

欠席者2名：酒井達也（県立八重山病院）、新屋洋平（西崎病院）

陪席者1名：三井清美（琉大病院）

### 報告事項

#### 1. 令和4年度 第3回 緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング議事要旨について

資料1に基づき、令和4年度第2回緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキング議事要旨が承認された。

#### 2. 令和4年度 緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキング委員名簿一覧について

資料2に基づき、令和4年度 緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキング委員名簿一覧が承認された。

#### 3. 令和4年度緩和ケア研修会の報告について

(1) 沖縄県立中部病院・沖縄県立八重山病院 共催 【第4回 2022年10月22日(土)】

(3) 沖縄県立中部病院・沖縄県立宮古病院 共催 【第6回 2022年12月10日(土)】

資料3-1、資料3-3に基づき、三浦委員より報告があった。参加者は両日ともほぼ同人数、主に2~4年目の研修医が参加されたとのこと。印象的だったのはロールプレイはよくできていたことと、「使いたいスキル」で「沈黙」という回答が多く、「沈黙」のありがたさを皆さんわかった様でよかったとのこと。また、療養場所の選択と地域連携で社会医療提供のシステムがまだわからず、なかなか話が進んでいかないようだったので、研修医の先生方に対しては患者さんの生活を考えるのは難しいのかなと思ったとのこと。

野里委員より、ロールプレイで沈黙というスキルという話があったが、北部地区医師会病院での反省会の時に、7分間の告知でさらに沈黙のスキルを使うのは現実的ではないのではという意見がでたが、三浦先生のご意見を伺いたいと質問があった。三浦委員より、実際にできていたかはわからないが、それぞれの立場になり、立場の違いを感じる事が目的なので、「やってみる」のが大事だと思っていると回答があった。

笹良委員より、キーワードとして「沈黙」が入ったのは評価すべきと思う。いったん立ち止まり、すぐ説明しないで聞こうというのが大事だということを学んだのであればよかったと意見があった。

(2) 北部地区医師会病院【第5回 2022年11月27日(日)】

資料3-2に基づき、野里委員より報告があった。「1日では詰め込みすぎ」、「時間を短くしてほしい」という意見があったため、間延びすることを反省し、今回は入れ替わりを早めにした、受講生にだらだらしたような印象を持たせないように心掛けたいと報告があった。

(4) 友愛医療センター 【第5回 2023年1月14日(土)】

資料3-4に基づき、笹良委員より報告があった。前回はオンラインだったが、今回はリアル開催となった。リアル開催をしたことがないスタッフが多かったので準備が恐る恐るだったり、笹良委員本人が入院してしまったため企画責任者を変更するようなアクシデントがあったりした。プログラムはがん患者さんへの支援のところを初めの方へ持ってきてモチベーションを上げ、e-learningの復習のところに放射線・精神科の先生の講義や薬物療法の講義など詳しくお話ししていただいた。意見は概ね良好なものが多かった。集合研修で質問や感想を聞いてもあまり手が上がらず、前回チャットで感想を聞いた時の方がレスポンスがよかったと報告があった。

足立委員より、e-learningの復習では通常でも時間がかかると思うが、講師を多くしたことで大変だったのではと質問があり、笹良委員より、事前に間違いが多かったところのみ講義を行い、正答率が高いところは流すようにした。また、ほかの講義等の時間配分も変更して調整したと回答があった。

(5) 中頭病院 【第6回 2023年1月22日(日)】

資料3-5に基づき、林委員より報告があった。2年目の研修医が主な受講者だった。中部病院から2名来ていただいて、活発に議論できたかと思う。大きな問題なく、時間通りに開催できたと報告があった。

4. 第4回日本緩和医療学会九州支部学術大会について

笹良委員より、日本緩和医療学会九州支部学術大会についてホームページの共有を行い報告があった。11月26(土)、大分市「J:COMホルトホール大分」にてハイブリッド形式で開催された。現地参加が非常に少なかったが、赤字にはならなかったと聞いている。ハウリングなど音声の問題があったことと、事務局の方たちの残業が多かったのが反省点に上がっていたとのこと。来年度は11月3日(金・祝)に鹿児島にて開催、開催方法は基本現地開催、プラス、オンデマンドまたはハイブリッド開催になると思うとのこと。またご協力お願いしますと依頼があった。

5. 令和4年度患者の意向を尊重した意思決定のための研修会(E-FIELD)開催について

笹良委員より、資料4に基づき報告があった。今年度も昨年に引き続きWEBで、九州・沖縄地区は10月23日(日)に、参加者100名程で開催された。来年以降の開催方法についてはWEB予定だが、夏ごろに決定するとのこと。

また、現在、神戸大学が厚生労働省からの委託により全国で開催しているが、数年後には、各都道府県に委託することになっている。そのため、E-FIELDの指導者研修会と指導者フォローアップ研修会を開催しファシリテーターを育成することになっており、次世代の若手の先生方への受講をお願いしたいと依頼があった。

6. 第5回日本GRACE研究会年次大会IN沖縄 について

笹良委員より、資料5に基づき第5回日本GRACE研究会年次大会について現地参加50名、ハイブリッド開催を行ったと報告があった。GRACE研究会のコアメンバーの方が研修会のマネジメントのプロフェッショナルの方が多く、スムーズにハイブリッド開催・グループディスカッション等交えながら開催できたとのことだった。

#### 7. 「緩和ケアおよび精神腫瘍学 指導者研修会」開催について

増田委員より、資料6に基づき報告があった。琉大からは身体1名、精神1名受講していただいた。ほかの病院でも現在の受講者の状況把握と後継者の育成の依頼があった。

笹良委員より、事務局側の育成もお願いしたいと依頼があった。

#### 8. その他

特になし

### **協議事項**

#### 1. 令和4年度 緩和ケア研修会の開催について

新里委員と久志委員より、それぞれの病院では開催なしと回答があり、今年度のすべての病院での開催は終了となった。笹良委員より、拠点以外の病院で研修医の受講状況について質問があり、西原委員より、2年目までには受講させるようにしていると回答があった。足立委員より、那覇市立病院でもほかの病院から受け入れているので来年度以降なるべく多くの研修医が受講できるように開催していきたいと回答があった。

#### 2. 令和5年度 緩和ケア研修会の開催について

院内調整はまだだが、南部医療センター・こども医療センターは10月7日(土)を予定していると神山委員より報告があった。

中村委員より、琉大病院は参加数を増やしたいということで今年度もWEB開催を行うと報告があった。

足立委員より、那覇市立病院も9月開催を予定しているので、琉大と被らないように開催したいと思っていると報告があった。決まり次第、事務局の方へご連絡くださいと依頼があった。

#### 3. 令和5年度 WG長、副WG長の選出について

三浦委員より、次年度から安座間由美子先生へ変更になると報告があった。

足立委員より、次年度のワーキング長が三浦委員の予定であったが、安座間先生へお願いしてもよいのかと質問があり、三浦委員より、次年度の1回目に安座間先生へ進行の方法などをお見せいただき、ご説明いただければ2回目以降は可能かと思うと回答があり、1～2回目は引き続き足立委員が司会を行うこととなった。

#### 4. WG委員について

増田委員より、ほかに委員へ加入した方がよい方はいらっしゃるか、と質問があり、足立委員より、沖縄県の方が一人いらっしゃればよいかと思うと意見があった。

#### 5. 院内向けの研修会について

増田委員より、資料9について、拠点病院の方のみではあるが、緩和ケア研修会のみではなく、ほかの研修についても抜粋しているので、確認をお願いしますと依頼があった。

また、アピアランスケアについての公募に応募しているので、通ったら、医療者向けと一般市民向けの研修会を琉大病院で開催したいと思っていると報告があった。

6. 次回令和4年度第4回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキングの日程について  
2023年5月頃の予定でがんセンターにてスケジュール調整することとなった。

7. その他

笹良委員より、4月15日(金)～16日(日)に開催される「GRACEプログラムin京都」についての紹介があった。

<https://gracejapan.org/category/%E3%81%8A%E7%9F%A5%E3%82%89%E3%81%9B/>

以上